

授業科目名	楽曲分析 I	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	高橋 裕	単位	2	年次	4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

バロック、古典派、ロマン派、近代現代に至るまでの作品を室内楽からオーケストラの作品に至るまで分析し、作曲家の作品と演奏のあり方について、多角的視点から学び自ら演奏に生かす。

＝履修の条件と学習の方法＝

作品の楽譜はこちらで用意するが、教科書は常に持参すること。一回一回の授業は音楽の流れに従って組み立てられている。授業は休まないことが重要である。

＝授業の概要＝

バロック、古典派、ロマン派、近代現代に至るまでの作品を室内楽からオーケストラの作品に至るまで分析していくが、楽曲の形態、スタイル、構成まで学びながら、作曲家の音楽的内面にまで迫っていく。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 バッハの作品（その1）
- 3回 バッハの作品（その2）
- 4回 モーツァルトの作品（その1）
- 5回 モーツァルトの作品（その2）
- 6回 ベートーヴェンの作品（その1）
- 7回 ベートーヴェンの作品（その2）
- 8回 シューベルトの作品（その1）
- 9回 シューベルトの作品（その2）
- 10回 ブラームスの作品（その1）
- 11回 ブラームスの作品（その2）
- 12回 ドビュッシーの作品（その1）
- 13回 ドビュッシーの作品（その1）
- 14回 バルトークの作品（その1）
- 15回 バルトークの作品（その2）

＝テキスト（必携）＝

新しい音楽通論 菊本哲也著 全音楽譜出版社

＝参考書・参考資料（必携）＝

楽曲の楽譜はこちらで用意する。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

学期末の試験にて、これまで学んできた楽曲の分析について、楽曲形態や構造、形式、音楽的特色を中心に理解度や分析力を問う

=その他=